

**CMSS**Council of Medical
Specialty Societies**World Health
Organization**

CMSS-NAM-WHO 共同研究:

フェーズ2: ソーシャルメディアにある医療 / 健康に関する 信頼できる情報源を特定する

プログラムの概要

医学専門団体会議 (<https://cmss.org/>) (CMSS) は、全米医学アカデミー (<https://nam.edu/>) (NAM) および世界保健機関 (<https://www.who.int/>) (WHO) と共同で、ソーシャルメディアにある医療 / 健康に関する信頼できる情報源を特定するプロジェクトのフェーズ2を実施しました。このフェーズの目的は、すでに標準化された調査メカニズムの対象となっている団体以外の情報源にも範囲を広げて、医療 / 健康に関する信頼できる情報源の特定と調査を可能にする枠組みを提示することです。情報源の信頼性に焦点を据えたうえで、この更新された原則を使用すれば、ソーシャルメディアや関連するプラットフォームにおいて医療 / 健康に関する信頼できる情報源を特定し、拡大させていくことが可能です。

プログラムの成果

- ディスカッションペーパー「**Identifying Credible Sources of Health Information in Social Media: Phase 2— Considerations for Non-Accredited Nonprofit Organizations, For-Profit Entities, and Individual Sources** (<https://nam.edu/identifying-credible-sources-of-health-information-in-social-media-phase-2-considerations-for-non-accredited-nonprofit-organizations-for-profit-entities-and-individual-sources/>)」が2023年5月23日に NAM Perspectives で発表されました。
- 2022年10月7日に投稿された**エグゼクティブサマリー** (https://cmss.org/wp-content/uploads/2022/10/CMSS-NAM-WHO-Identifying-Credible-Sources_Executive-Summary_Fnl_10.7.2022.pdf) をご確認ください。

- CMSS は YouTube Health と提携し、2月28日のYouTube 101セッションを皮切りに、2023年に会員団体に限定ウェビナーシリーズをお届けします。このウェビナーシリーズは、CMSS会員団体および個人会員のクリエイターを教育し、YouTubeを始めるきっかけを与えると同時に、YouTubeというプラットフォーム上で信頼できる医療/健康情報源を増やし、高めるためのベストプラクティスを提供します。CMSS会員の方は、プログラム担当者までお問い合わせください。

プログラム概要のPDFをダウンロードするには、[こちらをクリックしてください](#)。

https://cmss.org/wp-content/uploads/2022/06/CMSS_NAM_WHO_Phase-2-Program-Overview.pdf

NAM Perspectives のディスカッション ペーパーをお読みください

[\(https://nam.edu/identifying-credible-sources-of-health-information-in-social-media-phase-2-considerations-for-non-accredited-nonprofit-organizations-for-profit-entities-and-individual-sources/\)](https://nam.edu/identifying-credible-sources-of-health-information-in-social-media-phase-2-considerations-for-non-accredited-nonprofit-organizations-for-profit-entities-and-individual-sources/)

諮問委員会

Susan Curry, PhD, Co-Chair

Dean Emeritus and Distinguished Professor of Health Management and Policy, University of Iowa

Megan Ranney, MD, MPH, Co-Chair

Academic Dean, School of Public Health, Director, Brown-Lifespan Center for Digital Health, Warren Alpert Foundation Professor of Emergency Medicine

Vineet Arora, MD

Herbert T. Abelson Professor of Medicine, Dean for Medical Education, The University of Chicago Medicine, Pritzker School of Medicine

Wen-Ying Sylvia Chou, PhD, MPH

Program Director, Health Communication and Informatics Research Branch, Behavioral Research Program, National Cancer Institute

Ricardo Correa, MD, EdD

Director, Endocrinology, Diabetes and Metabolism Fellowship, Director for Diversity in Graduate Medical Education, The University of Arizona College of Medicine, Phoenix

Donna Cryer, JD

Founder and Chief Executive Officer, Global Liver Institute

Don Dizon, MD, FACP, FASCO

Professor of Medicine and Professor of Surgery, Brown University, Lifespan Cancer Institute

Efren Flores, MD

Associate Chair, Equity, Inclusion & Community Health, Mass General Brigham Radiology Enterprise Assistant Professor of Radiology, Massachusetts General Hospital

Gerald Harmon, MD

Vice President of Medical Affairs, Tidelands Health
Immediate Past President, American Medical Association

Anjali Jain, MD

Physician/ Medical Officer, Agency for Healthcare Research and Quality

Kevin Johnson, MD, MS

David L. Cohen University Professor of Computer and Information Science, Biomedical Informatics, Bioengineering, Pediatrics and Science Communication Perelman School of Medicine at the University of Pennsylvania

Christine Laine, MD, MPH

Editor, Annals of Internal Medicine at American College of Physicians

Lindsey Leininger, PhD

Clinical Professor and Faculty Director, Center for Health Care, Tuck School of Business at Dartmouth College

Graham McMahon, MD, MMSc

Chief Executive Officer, Accreditation Council for Continuing Medical Education

Laura Michaelis, MD

Associate Professor, Interim Chief, Division of Hematology and Oncology, Froedtert Hospital Cancer Center, Medical College of Wisconsin

Ripudaman Minhas, MD, MPH, FRCPC, FAAP

Developmental Pediatrician, Women's and Children's Health Program, St. Michael's Hospital, Assistant Professor, Department of Pediatrics, University of Toronto

Richard Mularski, MD, MSHS, MCR

Senior Physician and Distinguished Investigator, Northwest Permanente and Kaiser Permanente Center for Health Research

John Oldham, MD, MS

Distinguished Emeritus Professor, Menninger Department of Psychiatry and Behavioral Sciences Baylor College of Medicine

Rema Padman, PhD

Trustees Professor of Management Science & Healthcare Informatics, Carnegie Mellon University

Claude Pinnock, MD MPH

Chief Medical Officer, Wider Circle

Jessica Rivera, MS

Infectious Disease Epidemiologist and Science Communicator, The Pandemic Prevention Institute, Rockefeller Foundation

Brian Southwell, PhD

Senior Director, Science in the Public Sphere, RTI International

Antonia Villarruel, PhD

Professor and Dean of Penn School of Nursing, University of Pennsylvania

Brian Boxer Wachler, MD

Book Author and Director, Boxer Wachler Vision Institute

Katrine Wallace, PhD, CPH

Epidemiologist & Adjunct Professor, University of Illinois at Chicago

プログラムに関する連絡先

Helen Burstin, MD, CMSS CEO, hburstin@cmss.org (mailto:hburstin@cmss.org)

Suzanne Pope, CMSS Project Manager, spope@cmss.org (mailto:spope@cmss.org)

フェーズ 1 とフェーズ 2 について

フェーズ 1

フェーズ 1 では、NAM によって
招集された独立諮問グループが

「Identifying Credible Sources
of Health Information in Social
Media: Principles and
Attributes

(<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC8486420/#:~:text=The%20NAM%20is%20an%20organization,through%20social%20media%20%5D%5D>.)」
というタイトルのディスカッション
ペーパーを作成した。この NAM の
ディスカッションペーパーでは、
信頼性に関して団体の評価に使用
できる一連の原則と属性が提示さ
れている。

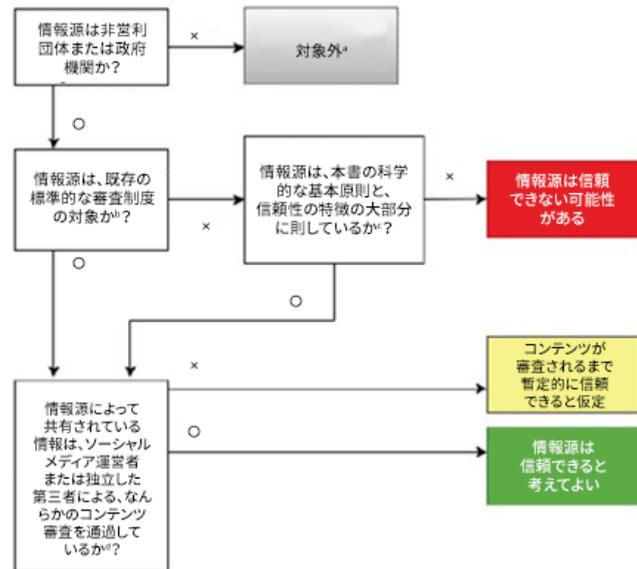
これには、1) 科学的根拠に基づ
いていること、2) 客観的である
こと、3) 透明性があり説明責任
を負っていること、と記述されて
いる。NAM と WHO は会議を招
集し、世界規模での適用を想定
して、これらの原則の確認および
検証を行った。

信頼できる情報源になり得る対
象には次の組織が含まれる。

- 既存の標準的な調査メカニズムを備えている非営利および政府の情報源（政府組織、医学雑誌、認定を受けている医療組織、教育機関、公衆衛生機関など）
- 標準的な調査メカニズムを備えていない非営利の情報源（非営利の団体、基金や財団、患者の疾病団体、地域の保健機関など）
- 営利団体および個人の情報源はフェーズ 1 の対象外

医療 / 健康に関する情報源の信頼性についての NAM のフローチャート（図 1）に記載されているとおり、組織の情報源が、**既存の標準的な調査メカニズム**の対象である場合は、その信頼性を事前に予測できる。こうしたメカニズムには、政府の説明責任に関する規則、認証評価、学術雑誌の索引付けなどが含まれる。YouTube などのソーシャルメディアプラットフォームは、既存の調査メカニズムを備えている権威ある情報源のいずれかが制作したコンテンツにラベル付けを始めている
(<https://support.google.com/youtube/answer/9795167?hl=ja>)。

図 1 ソーシャルメディアにおける医療 / 健康情報の情報源の信頼性評価フローチャート



[a] このチャートは、非営利団体と政府機関のみの信頼性評価が対象です。医療 / 健康情報の情報源として機能する営利目的の企業や個人には、別の信頼性評価プロセスも実施する必要があります。
[b] 本書の基本原則や特徴に則した既存の標準の審査方法には、認証制度、学術誌の索引、政府の説明責任の規則などがあります。こうした方法のいずれかの対象となる情報源でも、本書の信頼性の基本原則を満たすよう努めるべきです。
[c] 基本原則と信頼性の特徴の一覧は、表 1 を参照してください。
[d] コンテンツの評価を含む品質保証システムにより、情報源の信頼性評価を補うことが理想的です。

図 1: ソーシャルメディアにおける医療 / 健康情報の情報源の信頼性評価フローチャート、NAM Perspect, 2021

フェーズ 2

フェーズ 2 では、CMSS が NAM および WHO と連携して、調査メカニズムの対象になっていない非営利団体、営利団体、個人などを含めてコンテンツ制作者の範囲を広げることによって焦点を合わせている。その目的は次のとおりである。

- **調査メカニズムの対象になっていない非営利団体**が NAM の原則と属性に沿っていることを実証できる方法を確立する。
- 既存の原則と属性を **営利団体**および**個人**に対して検討し、適合させる。

新たに調整された原則と属性は、このように範囲を広げた情報源の信頼性評価に適用される。また、取り組みのこの新フェーズでは、組織の科学的監督を提供する医療リーダーシップについて客観的な情報源の信頼性評価に関する付加価値についても検討が行われる。個人のコンテンツクリエイターに対しても同様である。

更新されたガイダンスはソーシャルメディアプラットフォームが信頼できる情報源を特定して拡大するために使用されるが、ソーシャルメディアを介して医療 / 健康に関する情報を共有する組織は、独自のアプローチを自己評価する際にこの更新された原則と信頼性の属性を役立てることができる。また、一般の市民が情報源を評価する際にもこのガイダンスが役立つものと思われる。ソーシャルメディアプラットフォームなどの組織がソーシャルメディア上で医療 / 健康に関する質の高い情報へのアクセスのしやすさを改善するには、この両方のグループに働きかける必要がある。

諮問委員会がこのフェーズを主導し、フェーズ 1 の NAM 論文の著者、WHO の代表、その他の専門家がこの取り組みに参加することで、全世界を対象とする拡大された一連の原則、属性、定義を客観的に構築し、信頼できる情報源となり得るこの広範なグループに適用することが可能になる。

 CMSS | 633 N Saint Clair St, Suite 2400 | Chicago, IL
60611  P 312.202.5921 | F 312.268.6222

 メール: mailbox@cmss.org (mailto:mailbox@cmss.org)

サイトマップ (<https://cmss.org/sitemap/>)
プライバシー ポリシー (<https://cmss.org/privacy/>)

©2023 CMSS. All rights reserved.